

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

令和3年1月26日

協議会名: 川崎市地域公共交通会議分科会

評価対象事業名: 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
川崎市交通局	ノンステップバスの計画的な導入・更新	高齢者や障害者等を含めた利用者の移動の円滑化と利便性の向上を図るため、事業計画においてノンステップバス導入の定量的な目標設定を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 令和元年度は、計画どおり25両導入し、乗合バス車両におけるノンステップバス導入率は95.0%となり、バス利用者の移動の円滑化・利便性の向上を図った。	今後も利用者の移動の円滑化と利便性の向上に向けて、引き続き取組を進める。
小田急バス(株)	ノンステップバスの計画的な導入・更新	高齢者や障害者等を含めた利用者の移動の円滑化と利便性の向上を図るため、事業計画においてノンステップバス導入の定量的な目標設定を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A R元年度は、計画どおり1台代替導入し、利用者の移動の円滑化・利便性の一層の向上が図れた。	既にノンステップバスの導入率は100%となっているが、今後も利用者の移動の円滑化と利便性の更なる向上に向けて、引き続き、ノンステップバスの導入を継続する。
東急バス(株)	ノンステップバスの計画的な導入・更新	既に全車両がバリアフリー新法適合車両ではあるが、高齢者や障害者等を含めた利用者の移動円滑化と利便性向上のため、引き続きノンステップバス導入率向上を図った。	A 目標を達成し、事業は適切に実施された。	A 令和元年度は、市内営業所に計画を上回るノンステップバス10両(大型10両)を導入し、ノンステップバス導入率は64.7%となり、導入率向上が図られた。	引き続き、移動円滑化と利便性向上のためノンステップバスの導入率向上を図り、路線状況や需要予測に基づいたダイヤ改正や配車計画に取り組む。
川崎鶴見臨港バス(株)	ノンステップバスの計画的な導入・更新	高齢者や障害者等を含めた利用者の移動の円滑化と利便性の向上を図るため、事業計画においてノンステップバス導入の定量的な目標設定を行なった。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 令和元年度は計画通り20両を導入し、乗合バス車両におけるノンステップバス導入率は87.9%となり、利用者の移動の円滑化、利便性の一層の向上が図られた。	今後も利用者の円滑化と利便性の更なる向上に向け、引き続きノンステップバスの導入を続ける。